



裾野市議会議員

かも ひろみ  
賀茂 博美

## 《 ご挨拶 》

昨年は大変お世話になりました。2010年は2回の選挙を経験し、私の人生の転機の年となりました。皆様には温かいご支援、励ましのお言葉を沢山いただき、本当に感謝申し上げます。新たな年が始まり、益々やりがいを感じながらも、知識と経験をもっとも身につけていきたいという意欲に燃えています。そして、本当に皆さんの声の聞ける、役に立てる存在となるよう、努力してまいりたいと思います。どうかこれからも変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。



## 12月定例会 かも 博美 の一般質問

## 3歳児幼稚園入園について

Q 今年度の公立幼稚園3歳児入園への抽選状況と待機児童数は？

A 希望した園に入園できなかった方が73名。待機児童数は45名。

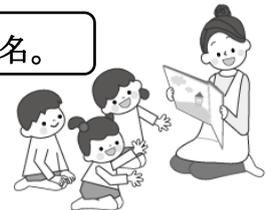
Q (※1)公立・私立幼稚園の授業料を同額とした効果は？

A 私立幼稚園への申込者が昨年より40名増加した。

Q 公立幼稚園3歳児クラスの増設を！

A 私立幼稚園が満杯になれば検討する。

※1  
平成21年度より、公立・私立幼稚園の授業料を同額となるよう、約2,300万円の補助事業を実施



## 広報の充実について

Q 今年度より、『いきいき広報室』と『秘書室』が統合され、裾野市の情報発信の強化が求められている。広報専門官の設置が必要では？

A 各部室からの広報連絡員制度を充実し、適切・適時の情報提供を行っていく。

Q ケーブルテレビで放送している『すその広報室』を庁舎1階のテレビで放送しませんか？

A 実施する方向で検討している。

Q (※2)無料の動画供給サービスを利用して情報発信をしませんか？

A 現段階では難しい。

Q コミュニティFMを活用してみませんか？

A 広報無線の充実と、ラジオ放送局への情報提供を積極的に行っていきたい。

※2  
主なものに尖閣沖の船の衝突映像で話題となった『you tube(ユーチューブ)』があります。



# 市議会をもっと身近に感じて欲しい

## 議 会 報 告



### 第4次裾野市総合計画・基本構想

今後10年間(平成23年初年度～平成32年目標年度)、裾野市が目標とする将来像と、これを達成するための施策の大綱。

#### まちの将来像 「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」

- ☆ だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」
- ☆ 成長するよろこびと地域のつながりでこころの豊かさを育む「すその」
- ☆ 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」
- ☆ 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」
- ☆ 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」
- ☆ 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

#### 《審査の過程》



10年先の裾野市をどのようなまちにしていきたいのか。市制の軸となる基本構想であり、議会での審査は慎重に行われました。  
特に人口については、『現在の人口(約55,000人)維持を目標』とすることについて賛否両論の意見がありました。



#### 議員提出議案

### 『裾野市議会改革等特別検討委員会』設置に向けての決議

特別委員会メンバー(会派名) 》◎委員長・○副委員長

杉本平治(市民クラブ)・賀茂博美(市民クラブ)・○芹澤邦敏(未来すその)・勝又明(未来すその)  
二見栄一(五竜クラブ)・◎杉本和男(はやぶさ)・佐野利安(公明党)・岡本和代(日本共産党)

『議会改革』および『議会基本条例の制定』を目的とした特別委員会を設置しました。会派を代表し、私も委員として議会改革への取り組みに参加することとなりました。さらなる議会の活性化・開かれた議会・市民の期待に応える議会を目指し、責任とやりがいを感じています。



### 副市長の選任

県職員、金嶋千明氏(50)を平成23年1月1日付けで、副市長として選任。

定例会閉会后、承認された金嶋氏は議場で『身に余る光栄であり、裾野市が健康文化都市として益々発展するよう誠心誠意尽くしたい』とご挨拶されました。



## 編集後記

12月定例会にも多くの方が傍聴に来てくださり、本当にありがとうございました。みなさんがより議会を身近に感じていただけるように、私からも情報発信を続けていきます。また、今定例会より『議会だより編集委員長』として、初めて『議会だより(2月1日発行予定)』の編集も行っています。みなさんに分かりやすい『議会だより』を目指していますので、ご意見等ありましたら参考にさせていただきます。みなさまにとって今年一年間が、豊かで充実した日々となることを願っております。